



オンラインを活用した授業研究

～鴨川市小中学校オンライン相互授業参観の取組について～

鴨川市教育委員会では教員の授業力向上や授業改善を目的に、長い間、小中学校における相互授業参観が進められています。今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、従来の参観方法を変更し、オンライン（Teams）で相互授業参観を行いました。勤務校にしながら、1人1台タブレット端末等を利用して参観できるシステムで、小中学校合わせて40近くの実践が行われたそうです。参考になる取組ですので、ご紹介させていただきます。



鴨川市小中学校オンライン相互授業参観

【目的】

『オンライン授業参観（リアルタイムや録画）』と『授業後の意見交換会』を小グループを基本に実施し、市内教員の横のつながりを深めながら協力して授業改善を目指す。

【方法】

展開教科は、小学校は算数科を中心に実施、（特別支援学級担当や専科教員はこの限りではない）中学校は各担当教科で実施とする。

〈オンライン相互授業参観の流れ〉

- ①小学校では主に学年ごと、中学校では教科ごとに教員3～4人のグループを編成する。
- ②各グループごとに授業者や授業日、授業後の意見交換会の日程を決める。
- ③オンライン授業参観と授業後の意見交換会を実施する。



※授業参観日については市内の学校に市教委から連絡する。

(他のグループの参観も可能)

※指導案は自由(概略メモ・略案等)だが、予め、参観者に見てほしい観点や課題等を示す。

※授業を撮影するカメラは2台据え置き(教室前方と後方)にする。

※意見交換会は30～45分間で終わるようにする。

(小学校は放課後、中学校は空き時間などを利用する。)



【オンライン相互授業参観を終えての感想】

移動する手間が省けて、とても良いですね！リアルタイムではなく、録画で見られるのも良いと思います。



オンラインでの授業参観のやり方に慣れてきました。少人数で意見交換できたのも話しやすくて良かったです。



子供たち個々の様子をわかるようにするには、撮影者が動けるようにすると良いのではないかと思います。



オンラインでの相互授業参観は今年度始めたばかりなので、実施後に参加した教員から意見を聞きながら、よりよい取組になるように進めているそうです。鴨川市教育委員会では「自校に同学年や同一教科の教員がいない状況でも、日常の授業を参観できる体制を整え、教員の授業改善のきっかけになるようにしたい」と期待しているとのこと。

中学校区の学校間や教科別の研究部会でも参考にして取り組めるかもしれません。ICTを上手に活用して、授業改善につなげていきましょう。